嘉年ハイランドで山口型放牧

山口農林事務所畜産部
平成20年10月21日

平成２０年１０月１５日、阿東町嘉年の農事組合法人「嘉年ハイランド」が、嘉年地域の南玄関口となる市場地区で、法人としては初めて山口型放牧に取組み、放牧を開始しました。

当地域は、和牛飼育の盛んな地域で、個々の畜産農家は既に山口型放牧を実践していますが、平成19年に組織された法人が、耕作放棄地対策として山口型放牧に取り組むのは、初めての試みです。

放牧された牛は、農林総合技術センター畜産技術部からレンタルした繁殖雌牛２頭で、高く伸びた野草を早速おいしそうに食べ始めていました。

山口農林事務所畜産部では、耕作放棄地の解消対策として山口型放牧が定着するよう、今後も法人や地域の住民に対して放牧技術の指導を行うこととしています

放牧直後

草を食べる牛たち